

## 第4学年A組 図工科学習指導案

授業者 三浦 里子  
研究協力者 長瀬 達也

### 1 題材名 今まで見たことがない ○○な山の物語（絵）

#### 2 子どもと題材

##### (1) 子どもについて

子どもたちはこれまで、絵の具でできた水たまりの色や形から想像した世界の絵をかいたり、1本の線からできたうどんおぼけをかいたりする活動を楽しんできた。また、4年生の題材「自分いろがみ」では、絵の具を使ったデカルコマニーやスパッタリングなどの技法を体験した。一方で、思いはあるのだが表現につなげていくときに難儀したり、ニコニコマークやハートなどの既製の概念を用いた表し方にとどまっていたりする子どももいた。その一因として考えられるのは、思いを表すときに何を表すか、どうやって表すか、材料や創造的な技能は何を使うかなど様々なことを選択する力が十分に育っていないことが考えられる。表したいことを見付ける場面で、形や色の面白さを見いだしたり、見付けた形から想像を広げたりすることができるようにするために「仲間との対話」の効果を活かすことが有効なのではないかと考える。

##### (2) 題材について

本題材では、偶然できた形の中から気に入った形を見付けることを通して、自分の表したい山の物語を想像し、その様子を表すために形や色、表し方や材料の選択を追求する力を培う。黒い紙の上にひもを置き、そこに偶然できた形をもとに、自分が想像した山の物語を表す。子どもたちが楽しみながら、偶然できた形から感じたことをもとにして想像を広げたり、絵の具を使った創造的な技法を活かして表したりしていくことができる題材である。

そして、「紙の上に置いたひもの形から、今まで見たことがない○○な山の形を見付けよう。」と投げかけることで、子どもたちはひもから生まれた形の中から気に入った形を見付けていく。自分なりに意味付けした形やその形から想像した物語を絵の具と筆で思い切り描くことは、想像する楽しさを味わうとともに、想像力を一層働かせることが期待できる。また、友達と一緒に形を見立てたり、話し合ったりすることで、自分なりの意味をもった色や形を見付ける力や想像を広げる力、効果的な技法を使い工夫する力がさらに高まると考える。

##### (3) 指導について

本題材における新たな価値を偶然にできた形の中から気に入った形を見付けることを通して自分が表したいことを見付けること、そして、友達の表し方や見方や感じ方の違いに気付く、自分のイメージに合った表し方を選びながら作品をよりよいものにしていくことと考える。その際には、ひもから生まれた形に自分なりの意味付けをする「見方・考え方」を大切にしていける。

ひもを紙の上に置き、できた形から気に入った形を見付けていく。一度できた形を崩し、再びひもを紙の上に置くと、違う形ができる。同じ形ができることはない。偶然にできた形の面白さから表したいことを見付けることができるように、見立てや友達の感じ方を伝え合う場を設定することで、作品の世界を広げていくことができるようにしたい。そのためには、ひもからできた形が面白いと感じさせるような出会いが大切になると考える。形を見付ける過程を十分に楽しむことができるように、映像に記録したり、タブレット端末を用いて見付けた形をなぞったりする活動を設定する。

ひもの形から表したい山の世界を発想する段階では、グループで話合う活動を設定する。自分で発想を広げている子どもとなかなか活動が進まない子どもが一緒になるようにグループ編成を工夫し、「仲間との対話」により、自分では気付かなかった友達の見方や感じ方にふれることができるようにする。また、友達のさまざまな見方やこれまで学習した創造的な技法などの選択肢の幅を広げることで、自分なりの山の物語の世界を広げ、新たな意味付けにつなげることができるものとする。

3 題材の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) 山の形やお話を考えたり，自分の表したかったことを相手に伝える喜びを感じたりすることに関心をもって，表現を楽しもうとする。 (a-3)
- (2) 偶然できたひもの形から山の形を考え，それをもとに想像を広げる。 (b-10・13)
- (3) 表したいものの感じがよく表れるように，経験や発見を活かして，絵の具や他の描画材料の扱いを工夫する。 (c-30)
- (4) 友達の山の形や色，物語の面白さを見付け，互いのよさを認め合う。 (b-20)

4 題材の構想（総時数6時間）

| 時間      | 学習活動  | 教師の主な支援  | 評価<br>〈本校の資質・能力との関連〉                                   |
|---------|---|--|--|
| 1       | (1) 山が描かれている作品を鑑賞する。                                      | ・ 自分なりの山を考えるための見通しをもつことができるように，様々な山の表し方を提示する。  | ・ 山の形や色などの特徴から感じたことを話し合い，山の表し方を意欲的に考えようとする。<br>(a-3)   |
| 2<br>本時 | (2) ひもを紙の上に置き，偶然できた形の中から気に入った形を見付ける。                      | ・ 自分の山の形を見付けることができるように，気に入った形について話合う場を設定する。<br>・ ひもの形から受けるイメージが広がるように，友達と見付けた形を見合って，互いにどのように見えるか伝え合う場を設ける。 | ・ ひもの形から気に入った形を見付け，表したいことのイメージをもつ。<br>(b-10)           |
| 3       | (3) ○○な山にあるものや住んでいるものなどを想像し，物語を考え，文や簡単なスケッチでメモをする。        | ・ 描いていくうちに思い付いたことを付け足していくことができるように，初めに思い付いたことをスケッチなどでメモをするように助言する。   | ・ ひもの形から見付けた山のお話を考え，表したいことを考えている。<br>(b-13)            |
| 4<br>5  | (4) 見付けた形を組み合わせてたり発展させたりしながら発想を広げ，これまでに経験した表現方法を活かしながら表す。 | ・ 自分の表したい感じに合った表現方法を選ぶことができるように，今まで経験してきた表現方法を演示したり，作品を掲示したりする。  | ・ 今まで経験したいろいろな表現方法の中から自分の表したいことに合ったものを選んで表す。<br>(c-30) |
| 6       | (5) 友達と作品を見合い，よい表し方や工夫した表し方を見付け，互いのよさを認め合う。               | ・ 感じ方の違いに気付くことができるように，表し方のよいところを見付け伝え合い，自分の感想と友達の感想を比べる場を設ける。  | ・ 友達と作品を見合い，違いやよさに気づき，互いに認め合う。<br>(b-20)               |
|         | (6) 作品紹介カードを添えて展示し，自分のアイデアを人に伝える。                         | ・ 楽しく見てもらうための方法を考えることができるように，展示や学校のHP掲載などの例を紹介する。  | ・ 自分の表したかったことを相手に伝える喜びを感じながら展示しようとする。<br>(a-3)         |

5 本時の実際 本時 (2 / 6)

(1) ねらい

紙の上に置いたひもの形から自分なりに形のおもしろさに気付いたり, どのように見えるかについて友達と話し合ったりする活動を通して, お気に入りの形を見付ける。

(2) 展開

○:「仲間との対話」を通して新たな価値を創造するための手立て

| 時間   | 学習活動  | 教師の支援  | 評価 |
|--|---|--|----|
| 10分  | <p>① 山が描かれている絵を鑑賞したときのことを想起する。<br/> <b>【仲間との対話】</b><br/>                     (予想される子どもの反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつも見ている山と違う形や色の山があっっておもしろかったよ。</li> <li>・ ひもの形からうどんおぼけを見付けたお友達もいたんだね。</li> <li>・ ○○な山の形も, ひもを使えば考えられそうだ。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑賞したときの感想をふり返ったり, 太平山の四季折々の写真を提示したりしながら「だれも見つけない形の山を考えよう。」と提案する。</li> <li>・ おもしろい形を見付けるために, 友達の「うどんおぼけ」の作品やアイデアスケッチを提示し, どのようにして「うどんおぼけ」を生み出したのか話合う場を設ける。</li> </ul>              |    |
| <p>学習課題<br/>紙の上に置いたひもから, お気に入りの山の形を見付けよう。</p>  |   |  |    |
| 10分  | <p>② 紙の上にひもを置き, 気に入った形を見付ける。<br/> <b>【自分との対話】</b><br/>                     (予想される子どもの反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 置き方によって, 形が変わるね。もっと, 試してみよう。</li> <li>・ くるくる巻きながら置いたら, 雲みたいなふわふわした形ができたよ。もっと続けて置いてみよう。</li> <li>・ 偶然できた形から, 鳥のように見える形が生まれたよ。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えをはっきりともつことができるように, どのように見えるかタブレット上でなぞったり, どんな感じがするかなど思ったことをメモしたりしておくように助言する。</li> <li>・ 発想を広げることができるように, 必要に応じて, 形を逆さにしたり, 縦横を逆にしたり, 離れて見たりするなど視点を交える方法もあることを伝える。</li> </ul> |    |
| 20分  | <p>③ 友達が見付けた形を見合う。<br/> <b>【自分との対話】 【仲間との対話】</b><br/>                     (予想される子どもの反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひものぐにゃぐにゃが○○な感じに見えるね。</li> <li>・ 細くて倒れそうな感じがする山だね。</li> <li>・ こんな山があったら, 登るのが大変そう。</li> <li>・ とても高い山で, 宇宙にまで行けそう。星が見えてきたよ。</li> <li>・ 細い山なんて見たことがないね。おもしろい。</li> <li>・ 何だかコマみたいに見えるよ。</li> <li>・ 横にすると踊っているみたい。</li> <li>・ 細くてふらふらしそうだけど, 実は飛んでいるんだ。だから, 山の上にいれば世界中を旅することができるよ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ なかなか発想が広がらない子どもの参考になるように, 気に入った形を見付けた子どもや, 山の物語を思い付いた子どもが説明する場を設ける。</li> <li>○ 自分の思いを伝えたり, 友達の発想のよさにふれたりすることによって, お気に入りの山の形についてのイメージを広げるきっかけとなるように, グループでの話合いの視点を示す。</li> </ul>   |    |
| <p>ひもから生まれた形からお気に入りの山の形を見付け, 友達と見合うことで表したい山のイメージをもっている。<br/>(b-10) (写真, 発言内容, シート)</p> |   |  |    |
| 5分   | <p>④ 本時の学習をふり返る。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さらにイメージを広げ, 自分なりの山の物語をつくるヒントになるように, 思い付いたことを書き留める時間を確保する。</li> </ul>  |    |

(3) 「仲間との対話」を通して新たな価値を創造する子どもの姿

